

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00091)

事務事業名称	アニメの振興と活用				款	03	項	05	目	01	事業	003	整理番号	098	
現担当課名	産業振興センター		係名	観光係		連絡先電話番号	5347-9184		昨年度整理番号	103					
上位施策No・施策名	06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	05							
令和 3年度担当課名	産業振興センター								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、区外来館者、商店街関係者、アニメ産業関係者	根拠法令等	(1) 杉並区立杉並会館条例 (2) 杉並区公式アニメキャラクター使用取扱要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並アニメーションミュージアムを軸に、区内アニメ制作会社のコンテンツや区公式アニメキャラクター「なみすけ」等を活用し、広域的に来街者を誘致し、商店街等の活性化やにぎわいの創出を図る。	活動指標	杉並アニメーションミュージアムの年間開館日数 「なみすけ」等の着ぐるみ延使用日数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	杉並アニメーションミュージアムを運営する。 アニメを活かした商店街等の振興を図る。 区公式アニメキャラクター「なみすけ」のPR、使用料の無償化による商用利用を促進する。	成果指標	杉並アニメーションミュージアムの年間来館者数 「なみすけ」商品化許諾件数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 日	283	305	218	306	306	164	100.0	93.7	
活動指標 (2)	2 日	87	100	23	80	16	80	20.0		
成果指標 (1)	3 人	54,304	80,000	20,354	80,000	35,731	36,000	44.7		
成果指標 (2)	4 件	43	50	15	50	21	50	42.0		
事業費	5 千円	87,738	84,022	81,854	90,056	84,390	86,449	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	71,223	67,773	67,335	74,463	70,680	70,394			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.70	2.40	3.09	2.40	3.02	2.40		
	上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	23,539	20,923	26,274	20,407	25,196	20,023		
	上記以外の職員	11 千円	3,080	3,080	3,628	3,628	3,675	3,675		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	114,357	108,025	111,756	114,091	113,261	110,147			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	404,088	354,180	512,642	372,846	370,134	671,628			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	3,330	0	3,290	0	3,578	0		
	その他の補助金等	17 千円	5,399	5,000	5,364	5,000	5,000	5,163		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	8,729	5,000	8,654	5,000	8,578	5,163		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	105,628	103,025	103,102	109,091	104,683	104,984			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 098

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	杉並アニメーションミュージアム運営業務委託			59,150
	杉並アニメーションミュージアム建物維持管理委託			6,798
	他区連携事業			4,957
	なみすけの普及			1,946
	その他（杉並アニメーションミュージアム著作権更新、光熱水費の支出ほか）			11,539
事業実績	<p>杉並アニメーションミュージアムでは、コロナ禍を考慮しつつ、区内アニメ制作会社と連携したミニ企画展示等を行い、来館者数は令和2年度比15,377人増の35,731人となりました。</p> <p>また、毎年、すぎなみフェスタと同時開催しているアニメ・マンガフェスは、新型コロナウイルス感染症の影響によりいずれも中止となりましたが、上井草にあったアニメ制作会社サンライズの荻窪への移転を契機としたガンダムのギャラリー展示を荻窪地下道において実施するなどにより、「アニメのまち杉並」の魅力発信に努めました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>平成12年度に「アニメの杜すぎなみ構想」を策定し、平成17年度に杉並アニメーションミュージアムを開設しました。杉並アニメーションミュージアムは、これまで展示の充実や積極的な情報発信により、杉並の観光拠点として来館者数を増やしてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により来館者数が大幅に減少していることに加え、立地や施設規模等の課題があります。</p> <p>区公式アニメキャラクター「なみすけ」は、平成18年度に「すぎなみの輝き度向上」の一環で公募選定しました。平成25年度には、デザイン使用料を無償化して、商品化や地域団体等の使用を促進し、区内において高い認知度を得ています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>アニメは、世界に誇る日本の文化として国内外で高い評価を得ており、アニメの振興と活用は、今後も全国各地で取り組まれるものと考えられます。</p> <p>インバウンドを含めた観光客の動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより不透明な部分もありますが、3～5年後には、観光需要が回復することを見据えて、杉並アニメーションミュージアムへの観光客の誘致を積極的に図ります。</p> <p>また、杉並区立施設再編整備計画に基づき、杉並アニメーションミュージアムの移転場所等を引き続き検討します。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内外観光客の激減や、毎年すぎなみフェスタと同時開催しているアニメ・マンガフェスの中止により、目標値を下回りました。</p> <p>また、「なみすけ」の商品化許諾件数も、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回りました。</p>
評価と課題	<p>杉並アニメーションミュージアムについて、令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を十分に講じながら、適切な運営に努めました。令和4年度は、複数台のディスプレイにより大画面に映像を映し出すマルチディスプレイなどのデジタル機器を新たに導入し、展示やワークショップ等の充実を図っていきます。また、杉並会館の改修工事に伴う休館期間中（7月～11月）は、他の区立施設等でのミニ企画展示や巡回ワークショップなどの代替事業を実施することにより、引き続きアニメによる魅力発信に取り組みます。</p> <p>「なみすけ」については、引き続き、インスタグラムによる商品紹介などを通じて、更なるデザイン利用の促進や普及に取り組めます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>杉並アニメーションミュージアムの来館者数を増やすため、アニメ制作会社との連携をより一層進めるとともに、魅力あるコンテンツを活用した企画や体験型展示・デジタル展示の充実を図ります。</p> <p>また、今後も、アニメ制作会社や商店街、近隣自治体等と連携しながら「アニメのまち杉並」としての地域ブランディングを進め、地域のにぎわい創出を図ります。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00644)

事務事業名称	観光促進	款	03	項	05	目	01	事業	004	整理番号	099
現担当課名	産業振興センター	係名	観光係					連絡先電話番号	5347-9184	昨年度整理番号	104
上位施策No・施策名	06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり						予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	04	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)		
令和 3年度担当課名	産業振興センター						事業評価区分	一般			

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、区外来街者 (海外含む)、商店・事業者	根拠法令等	(1) 中央線あるあるプロジェクト実行委員会規約 (2) 東京高円寺阿波おどり振興事業補助金交付要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	杉並区の「良さ」「らしさ」を再発見し、地域の様々な資源を観光コンテンツとして区の内外に広く発信することで、区外からの来街者増を図り、持続的な「まちのにぎわい」や、チャレンジマインドのある商店・事業者の「商機」を創出する。	活動指標	中央線あるあるプロジェクト新聞PR回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	中央線あるあるプロジェクトを推進する。 東京高円寺阿波おどりを支援する。 すぎなみ学倶楽部を運営する。 観光情報発信事業及び杉並魅力創出事業を実施する。 フィルムコミッションを運営する。 図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及を図る。	指標名 (1)	すぎなみ学倶楽部掲載頁数
		指標名 (2)	
		成果指標	共催イベント集客数
		指標名 (1)	高円寺フェスの来場者数
		指標名 (2)	すぎなみ学倶楽部アクセス数
		指標説明	ページビュー数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	17	16	14	17	13	16	76.5	93.6	
活動指標 (2)	2 頁	190	258	239	246	246	252	100.0		
成果指標 (1)	3 人	210,000	210,000	90,000	210,000	70,000	100,000	33.3		
成果指標 (2)	4 件	767,743	660,000	793,691	670,000	937,082	800,000	139.9		
事業費	5 千円	60,160	62,869	51,538	60,049	56,211	59,122	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	15,595	17,121	15,839	14,151	13,780	12,866			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	5.48	4.60	5.39	4.60	5.40	4.60		
	上記以外の職員	9 人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	47,775	40,103	45,831	39,114	45,052	38,378		
	上記以外の職員	11 千円	3,080	3,080	3,628	3,628	3,675	3,675		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	111,015	106,052	100,997	102,791	104,938	101,175			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	6,530,294	6,628,250	7,214,071	6,046,529	8,072,154	6,323,438			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	3,148	0	821	4,000	255	1,000		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,148	0	821	4,000	255	1,000		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	107,867	106,052	100,176	98,791	104,683	100,175			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 099

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「にぎわい・商機」創出プログラム (中央線あるあるプロジェクト)			38,558
	観光事業補助 (東京高円寺阿波おどり)			3,000
	すぎなみ学倶楽部の運営			7,606
	観光 P R (観光情報発信事業、杉並魅力創出事業ほか)			5,921
	その他 (図柄入り杉並ナンバープレートの周知・普及ほか)			1,126
事業実績	<p>「中央線あるあるプロジェクト」では、WEBやSNS等のほか、武蔵野市などと連携した情報発信を行いました。特に、著名人を起用した1月のWEB月間PV数は、これまでで最多の約7万件となりました。また、「すぎなみ学倶楽部」では、タレントの阿佐ヶ谷姉妹のまち歩き記事等の閲覧が増加し、PV数は令和2年度比143,391件増の937,082件となりました。さらに、農福連携農園を活用した農業体験ツアー等を実施し、計184人の外国人が参加したほか、高円寺阿波おどりの体験イベントを委託事業者のYouTubeチャンネルで配信し、再生回数が5万回以上とな</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>平成24年度に商店街振興を図る観点から都市観光事業の取組を開始しました。平成25年5月には「にぎわい・商機」創出プログラム「中央線あるあるプロジェクト実行委員会」を発足し、平成26年度には新たに専管組織 (観光係) を設置しました。</p> <p>近年、訪日外国人旅行者数は増加傾向にあり、令和元年は約3,188万人と過去最高を更新しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年は約412万人、令和3年は約25万人と大幅に減少しています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>インバウンドを含めた観光客の動向は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、不透明な部分もありますが、3~5年後には、観光需要が回復することを見据えて、観光客の誘致を積極的に行っていく必要があります。</p> <p>引き続き「杉並ならではの」魅力ある観光コンテンツを充実させるとともに、積極的な情報発信に取り組みながら、新型コロナウイルス感染症収束後の来街者を増やし、まちのにぎわい・商機を創出していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止などに伴い、中央線あるあるプロジェクトの新聞PR回数が目標値を下回りました。また、「高円寺フェス」について、令和2年度と同様にイベント規模を縮小したほか、事前予約制等により入場制限を行ったため、来場者数が目標値を下回りました。</p> <p>なお、「すぎなみ学倶楽部」では、阿佐ヶ谷姉妹に関連する記事等の閲覧が増加し、PV数は前年比143,391件増の937,082件となり、目標値を大幅に上回りました。</p>
評価と課題	<p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により「中央線あるあるプロジェクト」等の活動が制限されましたが、武蔵野市と連携した情報発信を行うなど、マイクロツーリズム (自宅から1、2時間圏内で行ける旅行) の推進に取り組みました。</p> <p>令和4年度は、「中央線あるあるプロジェクト」に加え、新たに民間事業者を活用した「魅力発信事業」を実施し、西武新宿線や京王井の頭線沿線などを含む区内全域にわたる観光情報を発信します。また、「すぎなみ学倶楽部」では、区制施行90周年記念事業や国内交流自治体関連の記事等を新たに掲載し、より一層の観光促進を図ります。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>引き続き、民間団体や区民等と協働して「中央線あるあるプロジェクト」や「すぎなみ学倶楽部」等を通じた効果的な情報発信を行うとともに、西武新宿線や京王井の頭線沿線の観光資源を活用した「魅力発信事業」を通じて、観光客の誘致を図ります。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00364)

事務事業名称	景観まちづくり				款	05	項	01	目	02	事業	003	整理番号	356
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係			連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	372			
上位施策No・施策名	06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり									予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成元年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	03	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)					
令和 3年度担当課名	みどり公園課									事業評価区分	一般			

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民、事業者、区	根拠法令等	(1) 景観法 (2) 都市計画法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	景観に対する区民の意識を高め、杉並らしい景観づくりに取り組む風土を醸成する。 魅力あるまちなみを創出する。 みどり豊かな杉並のまちを歩くことにより、新しいまちの魅力を見直し、まちに親しみを持つ人を増加させる。	活動指標	景観新聞 (景観録) の発行部数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○景観条例、景観計画に基づきみどり豊かな美しい住宅都市を将来にわたり継承する。 杉並景観録の発行や景観まちづくりイベントを開催する。 荻外荘の復原・整備について、杉並区公式ホームページ等による情報発信や、大田黒公園等の周辺施設と連携したイベント等により、機運醸成を図る。 まち歩きのためのすぎなみ景観ある区マップを発行する。	指標説明	
		成果指標	杉並区のまちを美しいと思う人の割合
		指標説明	区民意向調査による

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 部	17,500	17,500	17,500	17,300	17,300	17,000	100.0	73.7	
活動指標 (2)	2									
成果指標 (1)	3 %	78.6	84.0	80.5	85.0	79.6	84.0	93.6		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	4,318	6,723	5,395	5,162	3,804	11,223	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	1,060	1,465	1,005	552	359	4,987			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.91	1.75	1.85	1.85	1.95	1.85		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	16,651	15,257	15,731	15,731	16,269	15,435		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	20,969	21,980	21,126	20,893	20,073	26,658			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,198	1,256	1,207	1,208	1,160	1,568			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	20,969	21,980	21,126	20,893	20,073	26,658			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 356

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	すぎなみ景観ある区マップの増刷	67,200	部	1,980
	寄附趣意書の増刷	5,500	部	293
	休憩所等の維持管理	1	所	220
	大田黒公園周辺地区景観まちづくりニュースの発行	5,000	部	176
	その他 (杉並景観録 (第27号) の発行ほか)			1,135
事業実績	<p>杉並区全域を9地区に分けて作成した「杉並景観ある区マップ」を67,200部増刷、「杉並景観録」(第27号)は、みどりの新聞「みどりとひと」(177号)の発行に合わせて17,300部作製し、町会の回覧版として周知しました。荻外荘復原・整備の寄附金拡大のため、寄附趣意書を5,500部増刷しました。荻外荘の機運醸成の取組として、多くの見学者が訪れる大田黒公園秋のライトアップに合わせて荻外荘の建物内一部公開イベント等を行い、荻外荘復原・整備のPRと、寄附を通じた支援の呼びかけを行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>事業開始当初から景観の普及啓発を主な事業として取り組んできました。平成21年度に景観行政団体となり、平成22年6月から杉並区景観計画の運用を開始し、景観法に基づく届出制度等による景観づくりを始めました。平成28年6月に社会情勢の変化等を踏まえ、杉並区景観計画及び杉並区景観条例の一部を改正しました。平成28年に国史跡に指定された荻外荘は、令和6年12月の史跡公園としての公開を目指しており、令和4年度からは復原・整備工事に着手します。復原・整備に対し、日本全国よりこれまで以上の賛同・寄附を集めながら進めます。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>区民、事業者が自ら景観に関心を持ち、積極的に景観計画に取り組むことで杉並の面影を伝える貴重なみどりなどの景観要素を守り、みどり豊かで美しい住宅都市の形成を目指していきます。荻外荘の復原・整備については、令和4年度から工事に着手し、令和6年12月に公開予定です。荻外荘は国指定史跡のため、公開後は、区民のみならず日本全国の幅広い個人、団体等の一般の来園はもとより、貸し切り利用等も視野に入れ、積極的に活用される史跡公園を目指します。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>景観録については17300部作成し、町会の回覧版に載せることで、より多くの人に読んでもらう機会を作ることができました。</p>
評価と課題	<p>景観録等の発行により、美しい景観形成に関する区の取組を周知しました。特に、大田黒公園周辺地区景観まちづくりニュースでは、荻外荘復原・整備の機運醸成イベントの開催案内を地域限定で掲載しました。今後は、景観形成・維持の重要性をわかりやすく伝えられるトピックを、当該地域内の情報に限らず収集しています。</p> <p>荻外荘の復原・整備については、新型コロナウイルス感染対策を実施のうえ、現地公開イベントと講演会を開催し、機運醸成・寄附の呼びかけを実施しました。整備工事に着手する令和4年度は、現地イベントに替えて、区役所等でのオリジナルグッズ販売会を開催するなど、事業のより一層の周知を図っていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>今後区内の景観形成の核の一つとなる荻外荘の復原・整備について、史跡公園としての整備費を約11億5千万円と見込んでいるのに対して、現時点での寄附総額は約2300万円にとどまっています。寄附件数自体も伸び悩んでいますが、特に、国指定史跡である荻外荘に対して、区外からの寄附件数は全体の3割から4割で横ばいが続いています。日本全国の歴史・建築等に理解のある方々に届くような機運醸成のため、全国展開している雑誌への記事掲載等によって事業の情報発信を図っていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00368)

事務事業名称	都市再生事業				款	05	項	01	目	02	事業	007	整理番号	360
現担当課名	市街地整備課		係名	荻窪まちづくり担当係				連絡先電話番号	3382		昨年度整理番号	376		
上位施策No・施策名	06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	01	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)					
令和 3年度担当課名	市街地整備課								事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	荻窪駅周辺地区	根拠法令等	(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。	活動指標	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向け策定した「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を推進する。「杉並区まちづくり基本方針の改定等に合わせ、荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の一部改定を見据えた検討を行う。 荻窪にふさわしい素敵なデザインのもと、まちがひとつになり、統一感を持ってまちづくりを推進していくため、荻窪の地域ロゴマークを策定する。 まちづくりニュースやパネル展で普及啓発する。	指標説明	普及啓発活動等の回数
		指標説明	荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行
		成果指標	駅周辺まちづくり計画等の策定数
		指標説明	平成23年度からの累計策定数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	56	38	48	40	26	40	65.0	77.8	
活動指標 (2)	2 回	1	1	1	3	2	3	66.7		
成果指標 (1)	3 件	3	5	3	3	3	4	100.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	14,256	8,469	8,072	7,171	5,579	10,660	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	11,336	5,683	5,550	3,719	2,644	5,855			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	3.38	3.00	3.23	3.00	3.32	4.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	29,467	26,154	27,465	25,509	27,699	33,372		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	43,723	34,623	35,537	32,680	33,278	44,032			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	780,768	911,132	740,354	817,000	1,279,923	1,100,800			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	1,039	0	2,270	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	1,039	0	2,270	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	42,684	34,623	33,267	32,680	33,278	44,032			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 360

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	荻窪の地域ロゴマーク等制作業務委託	1	件	1,969
	荻窪の地域ロゴマーク等制作業務受託者候補者選定委員会の委員報酬の支出	3	件	156
	荻窪の「コンセプト」を考えるワークショップ講師の謝礼金の支出	1	件	153
	荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行	40,201	部	641
	その他（管理経費、消耗品購入費ほか）			2,660
事業実績	<p>「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の取組として、荻窪にふさわしい素敵なデザインのもと、統一感を持って、まちづくりの取組を推進することを目的とした荻窪の地域ロゴマークの策定を行いました。ロゴマークの制作過程において、地域の想いがロゴマークに反映されることを目的として、荻窪の「コンセプト」を考えるワークショップを開催しました。また、荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行やパネル展を開催し、荻窪駅周辺まちづくりに関する取組の普及啓発活動を行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	区内最大の交通結節点荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業として、地域の特徴と課題を明らかにしました。地域住民の方々より「荻窪駅周辺地区まちづくり構想（平成27年）」の提案を踏まえ、まちの将来像・目標を定め、テーマ別、エリア別に実現に向けた取組を示した「荻窪駅周辺まちづくり方針（平成29年）」を定めました。その実現を図るために「荻窪駅周辺都市総合交通戦略（平成31年）」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案（令和2年）」の策定をしました。また、鉄道や幹線道路等による南北分断の解消や、駅及び駅周辺の交通機能や利便性の向上などが挙げられる一方、良好な住環境については、維持・保全を求める声も多くあります。
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	「荻窪駅周辺まちづくり方針」で掲げた目標の実現に向け、「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の取組の推進や普及啓発活動を行います。また、（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、都市再生整備計画「荻窪駅周辺地区」を策定し、回遊性の向上に関する取組を計画的に推進します。
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	活動指標の実績は、荻窪まちづくり会議への出席をはじめ、地元住民や各種団体、関係事業者等と意見交換を行いました。また、普及啓発活動として、荻窪駅周辺まちづくりニュースを発行しました。成果指標の実績は、杉並区まちづくり基本方針の改定等に合わせ、「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」の一部改定を見据えた検討を行いました。
評価と課題	<p>「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」の取組としては、令和6年度の（仮称）荻外荘公園開園に向けた取組を推進し、観光バス駐車場の整備等について検討を行いました。今後は、そうした検討を踏まえ、「荻窪駅周辺都市総合交通戦略」の一部改定を行うとともに、回遊性の向上を図る道案内等に関する検討を進めていく必要があります。</p> <p>「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」の取組としては、今後、地域ロゴマークを荻窪駅周辺まちづくりニュース等の広報や回遊性向上のため整備する案内等のデザインに活用するとともに、地域内施設でロゴマークの展示会を開催するなど、普及啓発を進めていきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に都市再生整備計画を策定し、令和5年度より回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。また、荻窪駅構内を中心とした案内サインの整備についても、サインレイアウトや整備箇所、実施スケジュールについて鉄道事業者と協議を重ねた結果を踏まえ、計画的に実施します。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00369)

事務事業名称	多心型まちづくりの推進				款	05	項	01	目	02	事業	008	整理番号	361	
現担当課名	市街地整備課		係名	拠点整備係		連絡先電話番号	3383		昨年度整理番号	377					
上位施策No・施策名	06 魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり									予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	02	施策	06	計画事業	02	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
令和 3年度担当課名	市街地整備課									事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区民及び駅周辺地域来訪者 再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者	根拠法令等 (1) (2)	都市計画法、都市再開発法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進める。 民間再開発事業等を支援する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数 駅周辺まちづくりに関するニュース等の発行回数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ハード施策とソフト施策の連携を強化し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	駅周辺まちづくり方針等の策定数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 回	10	5	6	5	7	5	140.0	82.5	
活動指標 (2)	2 回	2	2	3	3	3	3	100.0		
成果指標 (1)	3 件	0	1	0	1	0	1	0.0		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	12,024	17,546	7,849	16,431	13,561	61,295	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	11,489	15,363	7,106	11,314	9,570	21,256			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	2.07	2.67	2.82	3.00	3.42	0.00		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	18,046	23,277	23,978	25,509	28,533	0		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	30,070	40,823	31,827	41,940	42,094	61,295			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	3,007,000	8,164,600	5,304,500	8,388,000	6,013,429	12,259,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	30,070	40,823	31,827	41,940	42,094	61,295			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 361

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託 (令和3年度)	1	件	4,496
	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定支援業務委託	1	件	1,628
	中杉通り沿道まちづくり検討支援業務委託 (令和3年度)	1	件	1,249
	ハードソフト連携による駅周辺まちづくり (高円寺駅南口駅前広場時計設置)	1	件	396
	その他 (負担金、事務費ほか)			5,792
事業実績	<p>各駅周辺のまちづくり方針の策定に向けた取組として、西荻窪駅周辺では、コロナ禍の影響等を踏まえ、対面式だけでなくオンラインを活用した懇談会等を開催し意見交換を行いました。富士見ヶ丘駅周辺では、令和2年度に地域住民を対象として実施したアンケートの結果等を踏まえ、方針 (素案) を作成し、地域住民の意見聴取を行いました。阿佐ヶ谷駅周辺では、中杉通りの歩行者・自転車空間の改善に向けて検討を進めました。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、庁内で地域課題への対応等について情報共有を図りつつ、課題解決に向けて取組を進めました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>事業開始当初は、駅舎の橋上化や市街地再開発事業等に代表される駅周辺整備といったハード施策事業を中心に取り組んできました。</p> <p>現在は、交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活の利便性向上を図り、にぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進めています。</p> <p>また、様々な地域資源の活用について検討し、ハード施策とソフト施策の連携を図りながら、多心型まちづくりの推進に取り組んでいます。</p> <p>なお、懇談会等では、まちづくりの事業に対して、安全・安心や暮らしやすさを求める意見などがあります。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>今後も駅周辺のまちの特長や課題等を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進する必要があります。</p> <p>そのため、まちの将来像やその実現に向けた取組の方向性を明らかにする、駅周辺まちづくり方針の策定を目指します。</p> <p>また、方針の策定後は、その実現に向けた取組を推進していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>駅周辺まちづくりの取組として、コロナ禍の影響等を踏まえ、対面式だけでなくオンラインを活用した懇談会等の開催やまちづくりだよりの発行を行い、活動指標を達成しましたが、駅周辺まちづくり方針の策定には至りませんでした。</p> <p>今後も引き続き懇談会等を開催し、地域のご意見を伺うとともに、まちづくりだよりの発行による情報発信等を行い、駅周辺まちづくり方針の策定を目指します。</p>
評価と課題	<p>西荻窪駅周辺では、駅前広場を含む都市計画事業 (補助132号線) など、まちづくり方針策定の前提となる事項に関して、地域住民等に向けて改めて丁寧な説明を行ってきました。今後も懇談会等の開催により地域の理解を深めながら取組を進めていきます。富士見ヶ丘駅周辺では、令和3年度中の方針策定を目指していましたが、コロナ禍の影響等から、地域住民の声を十分に聴取することができませんでした。今後はまちづくり協議会との意見交換など、地域の声を丁寧に聴取して方針の策定に向けて取り組んでいく必要があります。阿佐ヶ谷駅周辺では、中杉通りの歩行者・自転車空間の改善に向けて検討を進めるとともに、交通管理者等と情報共有を図りました。今後も課題の解決に向け連携して取り組むことが重要です。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	<p>西荻窪駅周辺では引き続き懇談会等を開催し、地域のご意見を伺うとともに、まちづくりだよりの発行を行うなど、まちづくりの取組への理解を深めながら、駅周辺まちづくり方針の策定を目指します。</p> <p>富士見ヶ丘駅周辺については、地域の動向を踏まえて、駅周辺まちづくり方針の実現に向けた取組を進めます。</p> <p>阿佐ヶ谷駅周辺では、中杉通りの歩行者・自転車空間の改善に向けて引き続き検討を進めるとともに、交通管理者等と情報共有を図りつつ、課題の解決に向け連携して取り組むを進めます。</p>	